



子どもの森づくり通信

発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク

〒146-0082 東京都大田区池上 1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
http://www.kodomono-mori.net mailto:info@kodomono-mori.net

J P 子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2020年11月号)

J P 子どもの森づくり運動とご縁をもたせていただいた方々に、
活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。

<今月の1枚>



「保育防災講座」で訪問した新潟県「つくし幼稚園」さんで
子どもたちと先生たちが一緒に育てている地元の“どんぐり”の苗木です。

とても元気に育っています。

来年、地元の森や広場に植えられる予定です。

(目次)

1. 【東北復興グリーンウェイブ2020】福島県「伊達こども園」秋の植樹会レポート
2. J P 子どもの森づくり運動【WITHコロナ】秋の活動レポート
3. 「園庭緑化運動」リレーエッセイ (2020年11月号)
4. 【事務局からのお知らせ】「全国集会&研修会2021」参加者募集

■「J P 子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「J P 子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の保育園・幼稚園・こども園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「J P 子どもの森づくり運動」運営体制

・運 営 : NPO法人 子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）

・特別協賛 : 日本郵政グループ

・主な後援/協力/連携団体

(公社)全国私立保育園連盟

(公社)大谷保育協会

保育環境研究所ギビングツリー

(公社)国土緑化推進機構

N P O 法人 C・C・C 富良野自然塾

(公社)こども環境学会

国際校庭園庭連合日本支部

(一社)日本森林インストラクター協会



1. 【東北復興グリーンウェイ2020】福島県「伊達こども園」秋の植樹会レポート

2020年11月5日(木)に、福島県伊達市「伊達こども園」園庭で J P 子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイ」の“どんぐり”の苗木の植樹会が開催されました。同園では、「東日本大震災」の除染活動で失われた地域の緑の復興を目指して、園庭に“どんぐり”の森をつくる活動に取り組んでおられます。「東北復興グリーンウェイ」では、全国の子どもたちが育てた東北の“どんぐり”の苗木を提供し、同園の“どんぐり”の森づくりをサポートしています。（＊活動の詳細はホームページをご覧ください。）

1. 日 時：2020年11月5日(木) 10:00～11:00 2. 会 場：「伊達こども園」園庭
 3. 主 催：社会福祉法人 桑の実福祉会 認定こども園「伊達こども園」（早田園長）
 4. 共 催：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（子森ネット） 5. 特別協賛：日本郵政グループ
 6. 参加園児数：1）植樹会 68名（年長） 2）「♪どんぐりえがお」 225名（年長、年中、年少）

＊本活動は、主催園と子森ネットの連携で、徹底した感染症対策の中で実施されました。



【開会式】

内藤副園長先生から、今日の活動についてお話しがあり、その後日本郵政グループから、伊達郵便局の梅津局長さんと伏黒郵便局の坂下局長さんにご参加いただきました。代表して、梅津局長さんから活動への応援メッセージをいただきました。

今回の植樹活動では、秋田の小沼さんと福島の藤田さんの両森林インストラクターにご指導いただきました。まずは、小沼さんから、“どんぐり”の木を育て、森をつくる大切さについてお話いただきました。



【植樹活動】

いよいよ、“どんぐり”の苗木を植えます。今年は園庭に“どんぐり”の苗木を6本植えるので、植樹活動を担当した年長さんが6つのグループに分かれて植えました。郵便局の局長さんにもお手伝いいただきました。植えた後にみんなで「大きなあ～れ！」とお祈りました。

【♪どんぐりえがお】

植樹会に参加した年長さんに年中さん年少さんが合流して、みんなで苗木が元気に育つことを願って「東北復興グリーンウェイ」のテーマソング「♪どんぐりえがお」を歌いました。同園の“どんぐり”の森づくり活動は、子どもたちから子どもたちに引き継がれ、これからも継続されます。また来年、お会いしましょう。



2. J P子どもの森づくり運動【WITHコロナ】秋の活動レポート

“こんな時だからこそ”をテーマに、「外遊び」や自然・環境体験活動のスキルアップを目指そうという保育者を対象に、2020年度も「自然・環境体験講座全国キャラバン」が全国で開催されました。以下、ダイジェストですが活動をレポートします。活動の詳細は、ホームページでご覧いただけます。

【埼玉県「浦和ひなどり保育園」】

- ・日時：2020年10月14日(水) ・場所：保育園裏山 ・参加者：園児21名 保育士21名
- ・インストラクター：塚原インストラクター（子森ネット）



普段から園の裏山で外遊びを行っているので、子どもたちは、自然体験のネイチャーゲームに積極的に参加してくれました。保育士の方々も一緒になってゲームに参加し、子どもたちの五感を刺激するためのノウハウを習得していただきました。

まずは、園児達と一緒に裏山でネイチャーゲームを行いました。自作の探検ループを使って、落ち葉や竹の葉などの色の違いを感じていました。

フィールドビンゴでは、きのこやコケなど普段注目しないものを発見し、形やにおいを友達と話し合っていました。



ネイチャーゲームの実践後、園舎内で保育士を対象にネイチャーゲームの活用方法について座学を行い、今後の保育に活用していただくためのノウハウを学んでいただきました。保育士の方からはゲームの進行方法など活発な質問をいただき、今後の保育に役立てたいと感想をいただきました。

by : 子森ネット塚原

3. 「園庭緑化運動」リレーエッセイ (2020年11月号)

「園庭緑化運動」の普及を目的に、園庭緑化（改善）についてすぐれた研究や活動に取り組んでいらっしゃる四人の方々のリレーエッセイを掲載しています。「子森通信」10月号から12月号は、「学校・園庭ビオトープ」の普及を推進されておられる（公財）日本生態系協会の田邊龍太さんにお願ひしました。二回目のエッセイです。

子どもたちに自然を ～園庭の自然化による教育・保育の可能性
（公財）日本生態系協会 教育研究センター長 田邊龍太



■はじめに

私たちの協会では、1999（平成11）年から隔年で、学校・園庭ビオトープのコンクールを開催しています。このコンクールは、全国各地の興味深い事例を収集して発信すること、また、参加校や園への助言などの支援を目的にしています。コンクールを通じて、近年小学校や中学校などより、幼稚園や保育所、認定こども園でのビオトープの取組が盛んになっている傾向を感じます。今回はそうした受賞園の事例を通じて園庭の自然化の魅力をご紹介します。

■「園庭の自然化」は考える時から楽しい

2017年度のコンクールにおいて、富田林市立錦織幼稚園（大阪府）が上位5賞のひとつ日本生態系協会長賞を受賞しました。この園でのビオトープづくりのきっかけは園児の想いでした。「プラケースで飼うおたまじゃくしをもっとのびのびさせたい」「園舎に巣をつくるツバメが園庭を飛び交うようにしたい」と園児が思い、その想いを保育者が上手に膨らませていった結果、園庭におたまじゃくしの池や、ツバメの食べ物となる虫がくらす草地をつくるという発想にいき着きました。

ここから、さらに園児と保育者の試行錯誤が始まります。「防水に人工的なものは使いたくない、泥団子で使う粘土はどうだろう」「虫がよくいる所の草を持ってきたらどうだろう」など、夢中になって普段の生活体験での気づきを応用していきました。作業もスコップで手にみんなでやりました。そして、出来上がったあとは、おたまじゃくしやツバメが新たにできた園庭の自然を気に入ってくれるかどうかを見守っていくことにしました。

ビオトープは、計画するときからワクワクが始まります。出来上がった後は、地域の野生の生きものが気に入って、居着いてくれるのかをドキドキしながら見守ります。これから園庭を自然化しようと考えている園は、こうした過程も、園児と一緒に楽しみながら実践できると良いと思います。次回は、保育者の立場からみた園庭ビオトープの魅力について触れたいと思います。



※information：（公財）日本生態系協会

日本生態系協会では、自然を保全・再生し、その自然が有する恵みを地域振興、防災や減災、教育や保育等に生かすことができるよう、政策提案や調査研究、モデル事業のコーディネートを行っています。教育・保育の分野では「全国学校・園庭ビオトープコンクール」を隔年で開催し、学校・園庭ビオトープの普及を図っています。詳しくは協会ホームページをご覧ください。

4. 【事務局からのお知らせ】JP子どもの森づくり運動「全国集会＆研修会2021」参加者募集

2021年2月17日(水)、18日(木)に東京で開催される、「全国集会＆研修会2021」の参加者を募集中です。今回は、コロナ禍の子どもたちの外遊びや体験活動について協議したいと思います。JP子どもの森づくり運動が2020年度に取り組んで来た「園庭緑化運動」の成果発表と「保育防災アクションマイスター認定講座」の概要発表も行います。なお、本集会＆研修会は、徹底した感染症対策の中で開催されます。その事情で会場参加者数が限られています。早めのお申込みをお勧めします。

詳細、及び参加申し込みは、ホームページをご覧ください。⇒ <http://www.kodomo-mori.net>